



船山城跡付近遠望(西から撮影)



関係位置地図(地理院地図に加筆)

安芸高田 歴史紀行

毛利元就没後450年記念

シリーズ「元就の謎を解く」第3回

船山神社

《吉田町吉田》



安芸高田市教育委員会
生涯学習課 主査
秋本 哲治

元就の家督相続と郡山入城
大永3(1523)年7月15日、毛利家当主であった幸松丸がわずか9歳で急死し、後継者は幸松丸の叔父で当時27歳であった多治比の元就とすることで家中がまとまりました。

元就は、幼い幸松丸の代行としての役割を担っていたため、重臣15人の連署をもって新たな当主として迎えられました。郡山城への入城は満願寺住職の占いにより、8月10日に行われました。

この迅速で円滑な相続を主導したのが、当時毛利氏の政務の最高責任者であった志道広良でした。

元綱事件の真相に迫る!

今回は元就の弟、元綱の存在を伝える数少ない痕跡、『船山神社』です。毛利家中を二分した大事件の実情と、その余波を探ります。

家中の分裂と元綱事件

翌年4月、連署した15人の重臣の内、坂広秀と渡辺勝らの一派、さらには元就の異母弟、相合元綱が元就に肅清される事件が起こります。これは、両名が「元就を抹殺し、元綱を当主に擁立する」という陰謀が露見したためです。この陰謀の黒幕には出雲の尼子氏が介在していたため、これを契機に元就は尼子方から周防の大内方へ転じることになりました。

しかし、元就は元綱を殺害したことを一切記録に残していません。そのことは、この事件に対する元就の苦しい胸の内を物語っているのかもしれない。

船山神社と船山城

元綱の屋敷は船山城にあったと伝わりますが、東西に細長い現在の遺構が元綱の屋敷跡であるかは不明です。

また、江戸時代から元綱を祭った船山神社が存在しており、船山の木を伐採した者を襲うたりを鎮めるべく建立されたと伝わります。元は船山にあったようですが、現在は細声峠を隔てた東の天神山側にあります。

相合に「相合四郎」墓所伝承地があります。相合は元綱は三男で、四男は就勝でした。これは江戸前期の『陰徳太平記』に就勝が謀反を起こしたと記されたために、誤って「四男」と伝承されたことによると思われる。



船山神社社殿(南から撮影)



相合四郎墓所伝承地

消防



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0931 ☎47-1191
https://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/119/



9月9日は「救急の日」

救急について
考えよう!



救急車の適正利用

病院に自分で行ける方が、「病院に行く手段がないから」「早いから」「無料だから」という理由で救急車を呼ぶと、救急車が本来必要な方の所へ到着するまでの時間が長くなってしまいます。

救急車を呼ぶべきか迷ったら

電話

救急相談
センター #7119
24時間365日受付

スマートフォン用アプリ

ぎゅーすけ
救急受診アプリ Q助



看護師が病気やけがの症状を把握し、緊急性や応急手当の方法、適切な医療機関など、電話でアドバイスします。



アプリに表示される簡単な質問に答えるだけで、救急車が必要かどうかを自動的に判断してくれます。

〈アプリダウンロード〉



App Store



Google Play

〈WEB版〉



緊急時はためらわず
119番へ

応急手当WEB講習

応急手当やAEDの使い方など、一般向け講習動画が公開されています。この機会に家庭や職場で学習してみましょう。



消防庁ホームページ
一般市民向け
応急手当WEB講習

問警防課 救急係 ☎お太助フォン 42-3952